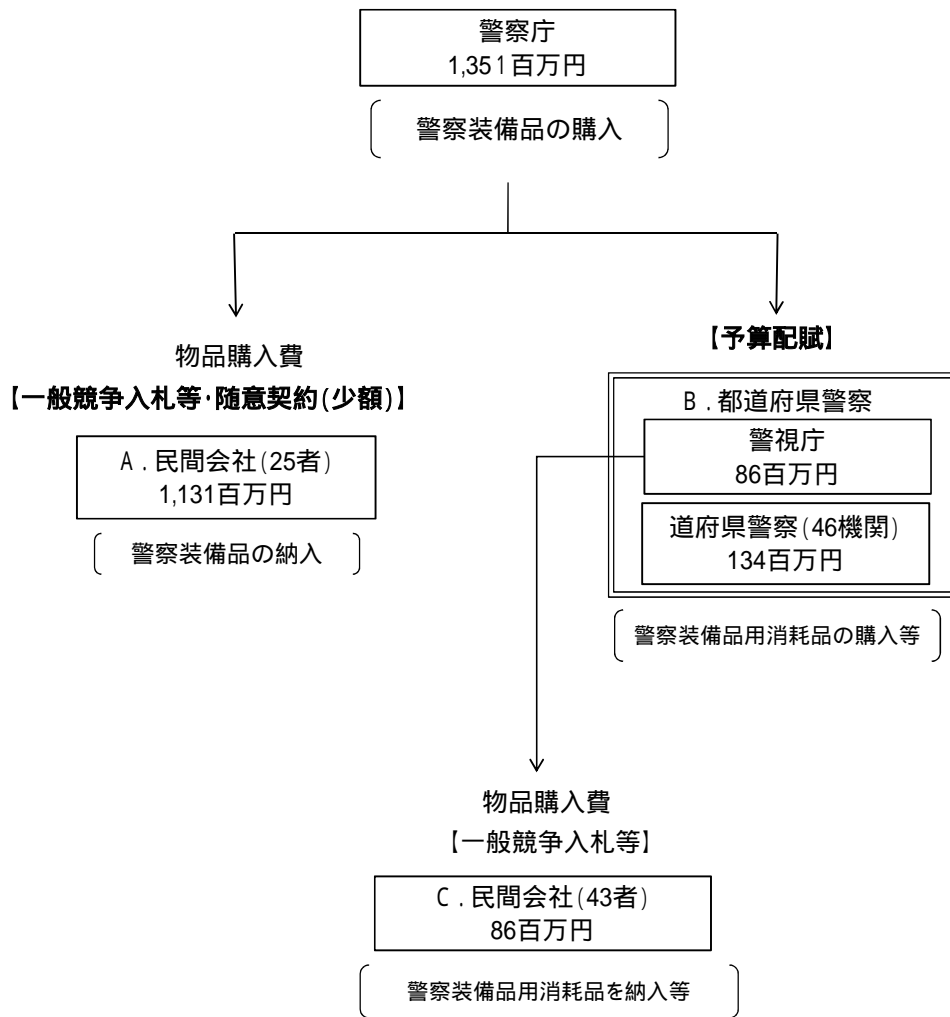


平成25年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	警備装備品の整備		担当部局庁	長官官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	会計課装備室		装備室長 富岡昭彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	複数施策(1~7)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察装備品を国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	有事即応体制を保持する常設部隊たる機動隊、ハイジャック等重大テロ事案発生時に事態の鎮圧等に当たる特殊部隊(SAT)、生物化学テロ発生時に被害者の救出・救助等に当たるNBCテロ対応専門部隊、大規模災害発生時に都道府県警察の枠を越えて被災者の救出・救助に当たる広域緊急援助隊等による警備活動に必要な警備装備品の整備を図る。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度 1,730	23年度 360	24年度 1,320	25年度 1,396	26年度要求	
		補正予算	636	0	3,231			
		繰越し等	288	617	3,065	3,065		
		計	2,078	977	1,486	4,461		
	執行額	1,798	945	1,351				
	執行率(%)	87%	97%	91%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 警察活動に必要な警備装備品の整備		成果実績	件	7,312	7,260	10,128	-
	(参考指標) 治安警備実施件数		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	整備した警備装備品の種類		活動実績 (当初見込み)	種類	42	47 (25)	57 (59)	(110)
単位当たりコスト	1,351,337千円/年		算出根拠	年間執行額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	物品購入費	1,396						
	計	1,396						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			各都道府県警察への警察装備品の整備に係る経費は、警察法第37条第1項第6号及び警察法施行令第2条第6号により国庫が支弁することとなり、また、規格・性能等を統一する必要性及び中央調達による経済性などの観点から、警察庁が実施すべき事業として適切なものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			入札により競争性を確保し、コスト削減に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	調達物品の仕様の検討を行い、物品の有効活用に努めている。 都道府県警察から執行状況報告を受け、活用実態について把握している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警備装備品は、警察庁において一括調達しているため、支出先・使途については把握している。また、都道府県警察に予算配賦しているものについては、都道府県警察から執行状況の報告を受けているため、支出先・使途については把握している。					
	2 見直しの余地 警備装備品は、テロや大規模災害が発生した際の警備活動を行う上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した警備装備品の更新や、治安情勢に応じた充実強化を図る必要がある。また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の検討を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに、競争性、経済性、透明性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組を行っており、今後とも効率的な予算執行に努める。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初13-1、補正8-1	平成23年	58	平成24年	43



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)トーヨーユニ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	機動隊員用プロテクタ	107			
計		107	計		0
B.警視庁			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	警備装備品用消耗品の購入等	86			
計		86	計		0
C.ノーベル工業(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入等	ヘルメットインナーの購入ほか	17			
計		17	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)トーホーユニ	機動隊員用プロテクタ	107	6	
2	櫻護謨(株)		102		
(内訳)		放射線防護服	63	1	
		空気呼吸器	39	2	
3	ミスズユニム(株)	出勤服	51	13	
4	辰野(株)	防災出勤服等	45	13	
5	東洋紡績(株)	生化学防護服	35	1	
6	東洋物産(株)	機動隊員用ヘルメット	35	4	
7	興研(株)		32		
(内訳)		特殊型防護マスク等	30	1	
		特殊型防護マスク用吸収缶(特殊用 型)	1	随意契約	
8	帝商(株)		24		
(内訳)		化学防護服 型等	15	2	
		生物剤簡易検知器用トレーニングキット	4	1	
		検知管式有毒ガス検知器用検知管	4	1	
		個人被ばく線量計(X線用)	1	1	
9	新成物産(株)		16		
(内訳)		生物剤検知器用消耗品(前期分)等	14	1	
		生物剤検知器用トレーニングキット	3	1	
10	スターライト販売(株)	機動隊員用透明防護楯	16	6	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警視庁	予算配賦	86		
2	大阪府警察	予算配賦	16		
3	神奈川県警察	予算配賦	14		
4	千葉県警察	予算配賦	13		
5	北海道警察	予算配賦	12		
6	愛知県警察	予算配賦	12		
7	福岡県警察	予算配賦	11		
8	徳島県警察	予算配賦	8		
9	群馬県警察	予算配賦	6		
10	山口県警察	予算配賦	4		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ノーベル工業(株)		17		
(内訳)		ヘルメットインナーの購入	2	随意契約	
		パーテーションセットの購入	2	随意契約	
		伸縮式車両阻止柵塗料セットの購入	1	随意契約	
		ドア枠組の購入	1	随意契約	
		立体標的の購入	1	随意契約	
2	帝商(株)		9		
(内訳)		ハーネス等の購入	1	随意契約	

		耐刃手袋等の購入	1	随意契約	
3	(株)日本フォトサービス		7		
(内訳)		フィルム等購入年間単価契約	6	3	
4	佐藤産業(株)	活動服等の購入	5	3	
5	(株)三栄商会		5		
(内訳)		液化窒素購入年間単価契約	2	3	
6	(株)成瀬商店		5		
(内訳)		ドッグフード等の購入	4	1	
7	東洋物産(株)		4		
(内訳)		公安機動捜査隊用夏活動服等の購入	2	随意契約	
8	日本エム・アイ・シー(株)	遠隔式爆発物処理用具修理等	3	随意契約	
9	美保産業(株)		3		
(内訳)		標的紙の購入	1	随意契約	
10	応用リソースマネジメント(株)	インクカートリッジ等の購入	2	随意契約	